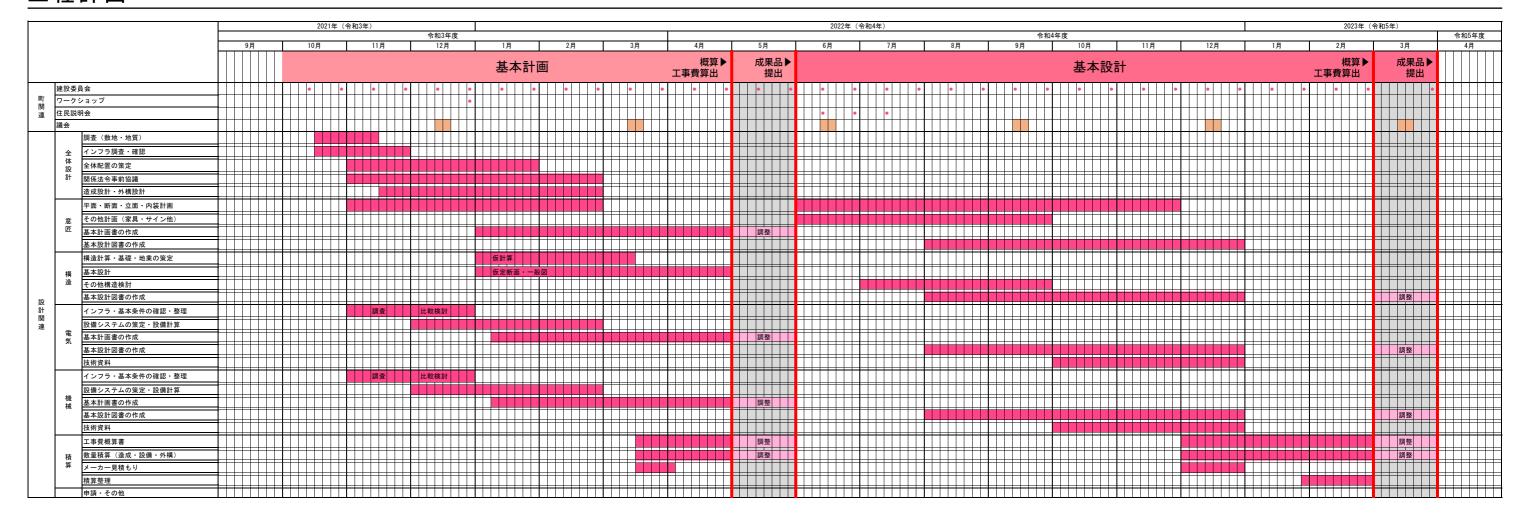
工程計画



取組体制

●多角的な視点をもつ設計チーム

国内外で多数の実績を持つ設計事務所と,長野市に本社を 置き地元の風土や建設事情に詳しい設計事務所が,設計協 同体を組むことで先進的で多角的な設計と対応が可能なチ ームとします. 庁舎及びその他公共建築の実績を多数備えた 主任技術者と長野市に本社を置く協力事務所(外構設計)を 配置し設計を行います、様々な方々とのコミュニケーション を重視し、的確にヒアリングすることで、必要とされるスペッ クの検討を行います.

●確実なプロジェクトマネジメント

設計協同体を構成するそれぞれの設計事務所が持つ,公共 建築のこれまでの経験を踏まえ、発注者様の要望を十分に ヒアリングし, 工期, 予算内に収まるよう努めます.

●コストコントロール

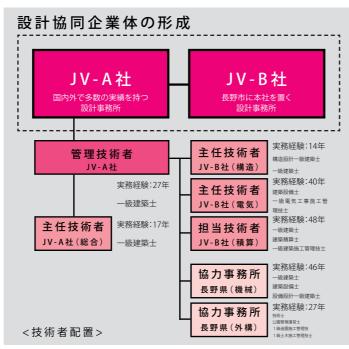
コストへの配慮を欠かさず設計を進めるため, 段階的に概 算見積りをとることで、出戻りがなく、予算内に収まるように 配慮します.

●コミュニケーションの重視

発注者との定例会議を実施するなど,設計検討の意見交換 を積極的に行い、十分なコミュニケーションをとりながら、設 計にみなさまの意見を反映していきます.

●ワークショップの開催

必要に応じてワークショップを実施する. 近隣住民, 施設職 員,周辺施設など様々な利用者から意見を徴収し設計に反 映させます. 過去, 公共施設の設計においても, ワークショッ プで多くの意見を聞き、設計に反映させた経験があります.





配慮事項等

●軽井沢の100年を見据えた施設

軽井沢グランドデザインのビジョンに沿い、これからの軽井 沢の明るい未来を切り開き、まちのシンボルとして後世に語 り継がれていく施設を目指します.

けたいと考えています.

こんな特徴がある、など一人一人が感じる軽井沢の良さを お聞かせ下さい.

地域の核として、皆様のご意見や考え方をなるべく集約する ように心がけます.

●軽井沢の美しい自然との調和

軽井沢町景観育成基準の考え方を十分に理解し,軽井沢町 の歴史, 文化を尊重しつつ, 優れた自然と景観に調和する 建築計画及び外構計画とします.

浅間山や佐久平への眺望, 圧迫感がなく, 周辺のまち並み と連続性のある建物デザインとします.

計画地近くを流れる湯川の自然との連続性を作り,町全体 ュリティー対策を施すことで安心かつ地域に開かれた施設 の調和を図ります.

●自然保護対策

世界でもトップクラスともいえる高原地を有する優れた保 養地の軽井沢.

その自然を壊さぬよう,自然保護対策要綱及び取扱要領に 沿った計画とします. 建物の形態, 色彩には十分に配慮し, 軽井沢にふさわしい,自然豊かな環境を目指します.

●既存施設での課題のクリア

待合スペース, プライバシーへの配慮, ユニバーサルデザ イン, 十分な書庫スペースの確保等の現状の課題を明確に し,一つ一つ丁寧に対応を検討します.同時に,災害発生時 歴史あるまちの新しい発展についての様々な意見に耳を傾における,対策本部としての機能性、非常用設備の拡充に 対応します.

●地域の風土を活かした環境づくり

地域の気候,風土,文化的特徴について,考察し,設計に取 り入れることで快適な環境をつくり、かつ自然エネルギーを 活用を積極的に取り入れます.人にも自然にも優しい環境 づくりによって、より市民の方々が愛着と親しみを持てる施 設となるよう計画します.

●効率的な執務空間とセキュリティー対策

関連部署の集約化とワンストップ窓口によって,利用者にと って分かりやすく柔軟な執務空間を目指します. 万全なセキ を計画します.

●管理が容易な施設計画と外構計画

地元建設業者が維持補修できる材料を選定し、容易に維持 管理できるよう計画とします. イニシャルコストだけでなく ランニングコストにも配慮した計画とします. 設計段階から 地域の風土に合った植栽を選定することで、ローメンテナン スな植栽計画を提案します.